

みなみあいづ

議会だより

平成27年8月12日発行

第37号

- 6月定例会
議案審議・・・・・・・・・・・・・2分
- 一般質問
10人の議員が町政を問う・・・・・・・・4分
- 第2回臨時会
議案審議・・・・・・・・・・・・・15分
- 第3回臨時会
議案審議・・・・・・・・・・・・・16分

お魚じょうずにとれたよ
館岩幼稚園イワナ掴み

平成27年第2回定例会が、6月12日から19日までの8日間の会期で開催され、町からは、平成27年度補正予算3件、その他の議案など8件が提出されました。

また、議会からは、意見書を提出する議案1件が提出され、慎重な審議が行われました。

物品購入契約

消防自動車の更新計画は

室井 英雄 議員

町には、合計59台の消防ポンプ自動車と小型動力ポンプ付積載車があります。今後の更新計画は、

室井 英雄 議員

住民生活課長

町村合併前の車両で、年数が経っているものから随時更新していきます。今後も、振興計画の見直しで更新が必要な車両を計上し、当該年度で予算を確保して対応します。



消防車両納車式の様子（平成26年10月14日）

平成26年度繰越明許費繰越計算書

既存の事業にあたるのでは

星 登志一 議員

今国会で、「地方創生に関する交付金事業には、継続関連事業が多すぎるのでは」との質問に対し、担当大臣は「従来と全く同じ事業であれば、精査のうえ適正に予算を執行する。」と答弁しています。この繰越計算書による地域活性化関連事業も、これに該当するのでは。

総合政策課長

繰越計算書にある地域活性化関連事業は、すでに国との調整が整っています。

一般会計補正予算

定住対策の事業内容は

山内 政 議員

定住対策プロジェクト事業で約1300万円の予算が計上されていますが、その事業内容は、

総合政策課長

山内 政 議員

県の地域創生総合支援事業により、①芽を活用した産業化のための調査研究、②移住体験ハウスの整備や移住体験ツアーの実施、③定住ガイドブックや空

総合政策課長



一般会計補正予算

2つの給付金、26年度との違いは

楠 正次 議員

臨時福祉給付金と子育て世帯特例給付金の減額理由は、

楠 正次 議員

臨時福祉給付金では、26年度同様の加算措置はありますか。

健康福祉課長

26年度の臨時福祉給付金は、26年4月～27年9月までの18ヶ月分の支給として、1万円に設定されています。

健康福祉課長

26年度は、年金生活者に対し5千円の加算措置がありましたが、本年度は一律6千円の支給になります。

27年度は、27年10月～28年9月までの12ヶ月分が支給されるので、6千円に設定されています。

また、27年度の子育て世帯臨時特例給付金は、臨時福祉給付金とのバランスにより、子ども1人につき3千円が支給されます。

監査委員の選任に同意

議員の任期満了により、議会議員から選出する監査委員を湯田哲議員（写真）とする議案が提出され、審議の結果、賛成13・反対3で同意されました。

湯田哲議員は就任のあいさつで、「町民の目線に立ち、行政運営の透明性を含めて監査機能を強化しながら、その責務をしっかりと果たします。」と、決意を述べました。



採決結果

議案等名称	採決結果	貝田 美郎	森 秀一	丸山 陽子	渡部 訓正	室井 英雄	湯田 良一	大桃 英樹	湯田賢太朗	湯田 哲	楠 正次	山内 政	高野 精一	星 光久	菅家 幸弘	阿久津梅夫	星 登志一	室井 嘉吉
監査委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	除	○	○	●	○	○	●	●	○

「○=賛成」「●=反対」「除=利害関係があるため、審議・採決から除く」 ※議長は採決に参加しません。

議会報告会

—町民と共に歩む議会であるために—

6月定例会の結果を1会場で報告

田部原第一区（65回）

日時	7月1日（水）午後6時30分から
会場	田部原コミュニティーセンター
参加者	区長ほか20名
出席議員	湯田賢太朗・森 秀一・室井 英雄 菅家 幸弘・丸山 陽子・室井 嘉吉
質疑事項	① 南会津町の債務状況は ② 臨時福祉給付金の該当者は
要望・意見	① 防災無線の内容をホームページに ② 旧田部原町営住宅側溝の早期改修を ③ 町道の危険箇所へカーブミラーの設置を

※質疑事項および要望・意見は一部のみ掲載しています。



平成27年6月定例会の一般質問が、17日・18日の2日間にわたり行われ、通告した10人の議員が登壇し、町の対応や考え方などを問いました。

登壇順序・質問項目

- 1 **菅家 幸弘 議員** 5分
①地方創生について
- 2 **室井 嘉吉 議員** 6分
①地域づくりについて
- 3 **湯田 良一 議員** 7分
①介護施設への待機者を減少させては
②今後の学校環境整備は
- 4 **山内 政 議員** 8分
①伊南小学校跡地利用の基本計画策定について
②小豆温泉「窓明の湯」早期再開について
- 5 **森 秀一 議員** 9分
①特別養護老人ホームの現状は
②駒止、山口、中山トンネルの安全な走行環境を
- 6 **渡部 訓正 議員** 10分
①県立南会津病院の充実強化について
②若者の雇用創出について
③バイオマス燃料について
④社会資本の充実確保について
- 7 **大桃 英樹 議員** 11分
①総合振興計画の見直しのあり方は
②選挙公報のホームページ掲載を
③次代のふるさとを担う人材を育成するために
- 8 **丸山 陽子 議員** 12分
①地方創生について
②高齢者対策について
- 9 **貝田 美郎 議員** 13分
①児童・生徒の学びの環境づくりについて
②介護施設内の充実について
③地域やまちなかの活性化について
- 10 **湯田 哲 議員** 14分
①町民と行政との協働、未来を拓く施策の推進について
②ICT時代の教育、学校の姿について
③「文化の薫る町」にするために

一般質問

一般質問は、議員が町の行財政全般にわたり執行機関に問題点をただし、所信の表明を求めて政治姿勢を明らかにするものです。



地方創生に町民の参加を

町長＝専門部会への参加で町民の意見を広く反映

問

地方創生の計画づくりに、町民の参加や意見が反映できるようにすべきでは。

町長

住民アンケートを参考に、町民に対してまち・ひと・しごとに関するアイデア募集を行うとともに、具体的な施策を検討するため、専門部会を設置して町民の参加を考えています。

問

町民が関心を持って、計画概要とスケジュールなどの説明は。

町長

町民に当事者意識を持っていただくよう、広報紙やタウンミーティングなどで情報提供や説明の機会を設けます。

問

地方版総合戦略策定に向け、プロジェクトチームなどを設置する考えは。

町長

26年が経過しているため、検証は考えていません。

問

過去の、ふるさと創生1億円事業を検証しては。また、この事業で後につながっている事業は。

町長

「館岩少年自然の家」や「ホテル南郷」を中心に、さまざまな交流活動が行われています。

問

友好都市、さいたま市との位置づけは。これら宿泊施設の存在は、町内の雇用や経済的な効果があるため、さらに絆を深めることで本町の地域づくりにつながるものと考えています。

用語

タウンミーティング

行政機関が地域住民に対して実施する対話型の集会。

パブリックコメント

行政機関が実行する政策に、あらかじめ町民から意見を聞き、それを意思決定に反映させるために行う制度。



さいたま市立館岩少年自然の家



地域づくりの成功例を教訓に計画を

町長＝町民のニーズや地域の実情を踏まえて作成

問

地域活性化に向け、「南会津町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進本部」を立ち上げ、人口ビジョンや5カ年計画の総合戦略策定に向けた取り組みが具体化しています。

計画策定にあたり、全国の地域づくりの成功事例などを教訓とすべきでは。

町長

町の現状を分析し、外部の人材や地域づくりの専門家などからアドバイスを取り入れ、町民のニーズや地域の実情に合った、現実的で実効性の高い施策を計画します。

問

南会津地域は、県内七つの生活圏の一つを構成しています。その生活圏を維持・継続するため、南会津地域の中心を担う本町の地域づくりは大変重要です。

町の認識は。

町長

本町は、南会津地域の中心として、消防の拠点や広域行政への対応、県の出先機関や県立南会津病院との連携、県立高校への支援など、その役割は重要だと認識しています。生活圏の中心となる本町の役割を十分意識した計画策定を進めます。

問

多くの自治体は、計画策定にあたり国や民間の支援を必要としています。

町の対応は。

町長

町民の参加に加え、本町に詳しい外部の人材や、専門的なアドバイスを頂ける方の指導などを頂き、28年3月までに独自に策定します。

問

第3セクターの位置づけも、計画策定に重要な関わりがあります。町の考えは。

町長

町が所有する観光施設の地域経済に与える影響や、第3セクターの地元雇用の役割などを含めて、観光施設の維持や活性化を視点に計画策定に努めます。



政策調整会議でまち・ひと・しごと創生総合戦略推進本部の設置を決定（平成27年1月30日）



家族介護の負担を軽減する支援策は

町長＝第6期南会津町介護保険事業計画により支援

問

現在、介護施設への入所待機者が多くいます。入所待機者を介護している、各家庭の負担を軽減する支援策は。

町長

ヘルパーを在宅で介護する、訪問サービスやデイサービスと、施設を利用するショートステイを組み合わせて、家族介護の負担軽減に努めています。今後も家族介護の負担軽減に向け、第6期南会津町介護保険事業計画により支援します。

学校環境の整備を

問

教育長＝各学校の要望を把握し、安全確保と適正管理に努める。近年、町の各小中学生のスポーツ競技は優秀な成績を修めています。特にソフトボールは、県大会や全国大会に出場するなど、練習の成果が表れています。

教育長

転圧などのグラウンド整備を隔年で実施し、運動に支障がないよう努めています。今後も、学校からの要望などを把握し、安全確保と適正管理に努めます。

問

大規模改修が必要な学校はありますか。また、その計画や時期は。

教育長

経年劣化から、改修が必要な学校施設がありますが、認識してはいますが、当面は修繕により安全確保に努めます。

問

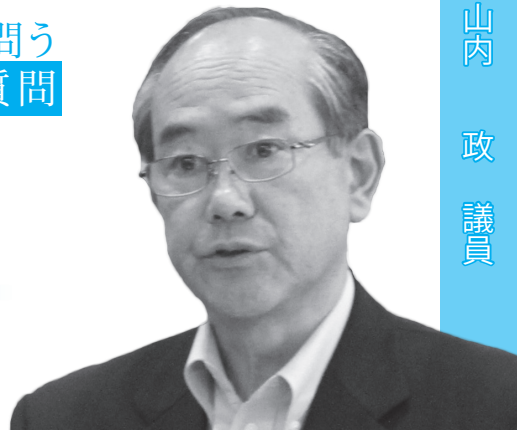
学校の統廃合計画は。

教育長

児童生徒が集団の中で、互いに励まし競い合っていくことができる環境や、多様な対人関係を築くためには、一定規模の生徒数が必要だと考えています。このため、田島中学校と、年々生徒数が減少している檜沢中学校の統合を検討しています。



競技力向上に向けた整備が望まれる（写真は田島中学校グラウンド）



伊南小学校跡地利用の計画は

町長＝ 28 年度に基本構想を策定

問 跡地利用計画の基本計画を策定する時期は。

町長 現在、教育委員会、伊南給食センターの整備計画を検討中です。その計画を基に、28年度に基本構想を策定し、元跡地活用検討委員会のメンバーや将来利用が想定される方々から意見をいただき進めます。

問 イベントや、交流広場として活用する方針は変わりませんか。

町長 各種イベントが開催でき、地域住民が交流できる場になります。

問 新たな学校給食センター整備計画の進捗は。また、計画の時期は。

教育長 現在の、伊南小学校給食センターの老朽化に加え、学校の統合などで配食数が増加しているため、新たな学校給食センターの整備計画を検討しています。なお、今後の財政状況を把握しながら計画時期を判断します。



地域住民の交流の場として利活用される「旧伊南小学校グラウンド」

小豆温泉「窓明の湯」の再開は

町長＝できるだけ早期の再開に努める

問 再開予定の時期は。

町長 「窓明の湯」の改築基本構想策定業務を委託し、現状と課題を整理しながら検討します。

問 かつての小豆温泉のように、源泉かけ流しにする考えは。

町長 利用者の印象や設備の規模、維持管理を含めて基本構想策定業務で総合的に検討します。

問 改築基本構想策定業務の委託先は。また、地域住民の声を反映させる機会を。

町長 委託先は、一般財団法人ふくしま市町村支援機構を予定しています。また、基本構想策定業務のなかで、必要により地域住民との話し合いの場を設けます。



特別養護老人ホームの現状は

町長＝次期介護保険事業計画で検討

問

郡内で、特別養護老人ホームの開設が進められていますが、入所待機者は解消されますか。

町長

南会津郡内では、現在約400人の方が待機しています。

本年7月、下郷町に特養部門80人の特別養護老人ホーム「レジデンスふじの郷」が開所しましたが、待機者の解消には至らないのが現状です。
なお、第6次介護保険事業計画がスタートしていますので、施設の新設や増床は、次期介護保険事業計画で具体的に検討します。

問

介護報酬改正の内容は。

町長

介護報酬は、全体で約2%が引下げられましたが、これまで一律一定以上の所得のある利

用者を対象に2割負担に改正されました。また、高額介護サービス費の負担限度額や、食費・部屋代の負担軽減の見直しなどがありました。



特別養護老人ホーム レジデンス「ふじの郷」(下郷町塩生地内)

国道3トンネルの安全な環境は

町長＝関係機関を交えて協議

問

駒止・山口・中山トンネルは、高齢者にとって暗く危険なトンネルです。

安全に走行するための対策は。

町長

南会津建設事務所に状況を確認したところ、「トンネル内の明るさは、設計速度や晴天・曇天・昼間・夜間といったトンネル外部の明るさも加味して、自動調光装置や自動点滅器で照明が調整されており、道路照明施設基準に基づいた明るさが確保されている。」との見解でした。

問

町の対応は。

町長

高齢者の交通事故防止は重要な課題であり、安全走行の確保に向けた環境整備を、関係機関と協議します。



県立南会津病院の充実強化を

町長＝常勤医師の配置などを県に要望



中核病院として期待される「県立南会津病院」

問

南会津地域の
中核病院であ
る県立南会津病院が、
現在地に新築されて20
年目を迎えます。
町民の多くが強く要
望している、眼科と産
婦人科の常勤医師の配
置を急ぐべきでは。

町長

県立南会津
病院は、南
会津地域の中核医療機
関として大変重要だと
認識しています。
今後、町の最重要
事項として、郡内町村
とともに非常勤診療科
目の常勤医師の配置を
始め、病院機能の充実
強化に係る機関に要望
していきます。

若者の雇用創出を

町長＝合同企業説明会を開催

問

若者の雇用確
保のため、高
卒・大卒予定者に対す
る農業・林業への就労
や、地元企業の雇用条
件の説明会など、町に
残るためのPRなどを
検討すべきでは。

町長

農業では、
高校・大学
を対象に、生産者団体
などと協力してトマト
栽培の体験学習を実施
しています。
また、郡内就職希望
者には、合同企業説明
会を開催しています。

社会資本の 充実確保は

町長＝町独自の要望
活動を実施

問

安心・安全な
南会津にする
ため、道路網整備、砂
防・治山施設の整備な
どの社会資本の充実が
必要です。

町長

予算確保が厳しい中
で、町と議会とで直接
的な要望活動を実施す
べきでは。

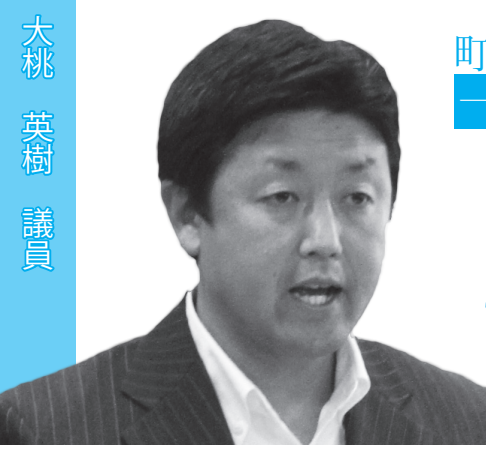
問

町長＝森のエネルギー創出事業を継続
バイオマス燃
料の活用を拡
大すべきでは。
また、チップ事業を
担っている、森林組合
への支援は。

町長

チップ事業
の安定的確
保のため、森のエネル
ギー創出事業の継続
と、燃料チップの品質
向上に向けた支援を継
続します。

バイオマス燃料への支援を



「特徴ある地域づくり」の計画づくりは

町長＝町民の意見などを考慮した地域づくりを検討

問

今年度、本町は合併10周年を迎え、町の最上位計画である総合振興計画の後期分の見直しを行います。

この見直しの方法とスケジュールは。

町長

同計画は23年度から32年度までの10年間を計画期間としています。が、まちの将来像や基本構想は変更せず、目標を達成するための政策や施策の見直しを行います。

なお、計画骨子を本年10月までに作成し、タウンミーティング、パブリックコメントで町民の意見を反映させた後期基本計画を、28年3月の議会定例会に提案する予定です。

問

本町の魅力は4地域それぞれの資源であり、さらに魅力を高めるためには、これまでの「均衡ある発展」に加え、「特色ある地域づくり」を重点的に進めるべきです。

総合振興計画とともに策定する総合戦略で、それぞれの地域の特性や特徴的な集落に焦点を当てた地域づくりも検討します。

町長

総合振興計画とともに策定する総合戦略で、それぞれの地域の特性や特徴的な集落に焦点を当てた地域づくりも検討します。

次代を担う子どもたちにも伝えるべきことは

教育長＝故郷を愛し、故郷の良さを次代に伝えること

問

本年6月6日、町総合教育会議が開催され、教育大綱が定められました。

大綱の理念である「次代の地域を担う人材の育成」を実現するために、「どんな故郷を残したいか」を明確にし、子どもたちに伝えていくべきです。教育長の考えは。

教育長

大綱の基本目標でも「町民一人ひとりが故郷を愛し、誇りを持ち、故郷の良さを子どもたちにも伝える町」を残すために、具体的な施策の中でその大切さを子どもたちにも伝えていきます。

「町を愛する人の育成」を掲げており、残すべき故郷の姿を明確にしておくことは重要と考えます。

その他の質問

・選挙公報のホームページ掲載を



町総合教育会議のようす



道の駅を核とした地方創生を

町長＝連携した取り組みで誘客につなげる

問

国は、「道の駅」を地方創生の核として重点的に支援することを決定しました。

町の考えは。

町長

道の駅は、大きく新しい人の流れを作り、仕事を生み出す核になると認識しています。

町内には3つの道の駅と1つの町の駅があり、4つが連携して取り組むことで、さらに誘客につながる可能性があると考えています。

問

町と町、人との交流を盛んにするため、町を知っていただくための

アピールの方法は。たとえば、太鼓グループでアピールする考えは。

町長

町内の太鼓グループの中には、全国的な大会で入賞するグループもあり、町の知名度の向上に大きな役割を果たしていると認識しています。

町としては、芸術文化やスポーツなどの各分野で、それぞれ活動している子どもたちに対して、広く支援していきます。

独居高齢者へ負担軽減の支援を

町長＝新生活支援サービス事業として検討

問

独り暮らしの高齢者に対し、買い物やゴミ回収などを支援する考えは。

町長

高齢者の見守りや買い物支援、日常生活での簡易的なサービスの提供を、NPO法人や民間企業、ボランティアなどの参加を得ながら、29年度から実施される介護保険制度の新生活支援サービス事業で、実施の可否を検討します。



道の駅「番屋」(館岩地域)



町の駅「南会津ふるさと物産館」(田島地域)



道の駅「きらら289」(南郷地域)



道の駅「たじま」(田島地域)

連携した取り組みを



児童・生徒の学びの環境づくりは

教育長＝集団の中で互いに励まし競い合って向上できる出来る環境

問

「荒海中学校は、現段階で統合を考えていない。」とのことですが、将来的な考えは。

教育長

少子化を見据えた対応が必要であり、生徒数の状況を見ながら検討します。

問

町内の小中学校の統廃合は、その地域性から限界があると考えます。集団生活やスポーツ競技などの対応は。

教育長

集団の中で互いに励まし競い合って向上できる環境や、多様な対人関係を築くためには、一定規模の生徒数が必要で、一方、学校は地域の活性化に大きな役割を担っているため、今後も地域住民の意見などの把握に努めます。

早急に介護施設内スタッフ（介護士等）の人材確保を

町長 介護職員の確保や育成は重要

問

介護保険事業計画・高齢者保健福祉計画の充実に向け、早急に人材の確保と育成に取り組むべきでは。

町長

介護ニーズが増大するなかで、サービス提供を担う介護職員の確保や育成は、重要な課題です。なお、会津地域雇用創造推進協議会では、本年度に介護人材育成研修事業を実施する予定で、受講者の確保に努めます。

イベントを通じた地域・町なかの活性化を

町長 II 地域一丸となった魅力づくりが重要

問

田島地域の「桜ウォーク」は、各行政区長・地域住民の協力を得て実施しています。関係者が一丸となるイベントを各地域で実施し、地域の活性化につなげては。

町長

桜ウォークは、地域の活力を生かした「おもてなし」が大好評で、リピーターも増加し、町の観光イベントのモデルケースです。今後も、地域力を生かした取り組みを広げ、町独自の観光客受け入れ体制の構築や情



南山の桜と歴史めぐりウォークのようす（平成27年5月1日）



「生きがい」につながる事業の推進を

町長＝介護予防ボランティアの育成事業を計画

問

町民は「日々
の生きがい」
を求めています。

現在、町が実施して
いる町民の「生きがい」
につながる事業と、今
後実施が予定される事
業は。

町長

町では、高
齢者学級や
趣味の講座、ふれあい
サロン事業や町民が自
主的に行う事業を支援
する「元気のでる地域
づくり支援事業」を実
施しています。
今後、介護予防ボラ
ンティアとして活躍し
ていただくための、育
成事業を計画していま
す。

問

田島地域中心
部には、温泉
がありません。

温泉施設などがあれ
ば「日々の生きがい」
になります。
町の考えは。

町長

田島地域中
心部に、温
泉施設を建設する計画
はありません。
既存の温泉施設を利
用して頂くため、本年
7月1日から町内70歳
以上の高齢者を対象
に、「元気でゆうゆう
温泉等利用助成事業」
を実施します。

「文化の薫る町」にするために

教育長＝町部局と連携し、各種施策を進める

問

教育長の考え
る「文化の薫
る町」とは。

教育長

芸術文化活
動だけでなく、保
存伝承され、活用され
ている町であると考え
ます。

教育長

平成22年
当時、町民
の使用料を100%減
免していましたが、一
部利用者のマナーの低
下が見受けられまし
た。
また、利用団体が集
中したので、抽選で利
用を決定してきた結
果、不満がでる事態に
なり、減免率を50%に
改定したものです。
改定後は、このよう
な問題は解消されてい
るので、使用料の負担
は、同館を気持ちよく
利用いただくために必
要であると認識してい
ます。

問

文化振興の拠
点に位置づけ
る御蔵入交流館の、使
用料の無料化または減
額を求める声がありま
す。
町の考えは。

その他の質問

・ICT時代の教育、学校の姿について



地域文化振興の拠点を担う「御蔵入交流館」

議員の任期満了に伴う一般選挙後、初の議会が開催され、正副議長の選挙、常任委員会委員などが選任されました。その後、町からは、専決処分1件（条例の一部改正3件、26年度補正予算7件）、27年度補正予算1件、その他7件の議案が提出され、慎重審議の結果、全会一致で可決されました。

国民健康保険税条例の一部改正

減額による国保財政への影響は

楠 正次 議員

国の制度改正により、国保財政への影響は、国保財政への影響は、

住民生活課長

国は、国保改革による制度の安定化に向け、27年度以降は高所得者で担税力のある方に対して、賦課限度額を1〜2万円引き上げるという方針が示されました。

また、税負担を軽減する所得判定基準の改正では、中間から低所得層の被保険者を対象に、軽減する改正が行われました。

なお、税負担軽減により、保険料が減額する自治体への財政支援

平成26年度一般会計補正予算（専決）

ニーズに合う町営住宅の改修を

大桃 英樹 議員

町営住宅改善工事請負費が減額補正されていますが、工事内容は、

建設課長

町営住宅田部原団地の外部塗装と、同松下団地の解体に関する工事です。

大桃 英樹 議員

町営住宅田部原団地は段差も大きく、バリアフリー化できないかとの声も聞かれます。今後の対策は、

建設課長

町営住宅寺前団地の建て替えをはじめ、今後は新たに建設するものからバリアフリー化を進めます。



建て替えが進む町営住宅寺前団地

なお、既存の町営住宅の改修は、状況を踏まえて検討します。

鳥獣被害対策実施隊の活動実績は

星 光久 議員

鳥獣被害対策実施隊報奨金の減額内容は、

農林課長

有害鳥獣の捕獲数と実施隊の実働人数に対して支払われますが、計画に対して実績が低かったため減額補正したものです。なお、26年度の実績は、下表のとおりです。

平成26年度有害鳥獣捕獲数・実働人数

区分	計画数	実績数	増減
ニホンザル	200頭	133頭	▲67頭
ニホンジカ	85頭	288頭	203頭
イノシシ	85頭	58頭	▲27頭
カラス	200羽	8羽	▲192羽
実働人数（延べ）	936人	826人	▲110人





一新庁舎建設へー 工事の契約案件を全会一致で可決

町からは、契約案件4件、補正予算1件、その他1件の議案が提出されました。

また、議会からは、意見書を提出する議案1件が提出され、慎重な審議が行われました。

新庁舎建設工事契約

資材価格等が急騰した場合の対応は

山内 政議員

東京五輪のメイン会場「新国立競技場」も、資材の高騰などから建設費の増額が懸念されています。

新庁舎建設でも、このような状況になった場合の対応は、建築主体工事、電気設備工事、空調換気設備工事以外の工事は無い。

湯田賢太郎 議員

は、県の設計変更にて定められた基準により適切に対応します。

副町長

26年度の実施設計では、県が示す労務単価などを設計単価に組み込むほか、鉄骨などの構造物も見積額を予定価格に反映している。現時点で予定価格と入札額に大きな差はありません。

しかし、資材などの価格が急騰するなど、特殊な要因が生じた場合

新庁舎建設事業付帯工事実施計画

実施年度	工事名称
27年度	地中熱関係工事
	町道付け替え工事
	バス車庫解体工事
28年度	新庁舎内部木質化工事
	外構整備工事
	現庁舎解体工事

総務課長

左表の工事を計画しています。

民事調停等訴えの提起

調停と判断する基準は

高野 精一 議員

住宅使用料のほか、町税やその他の使用料でも、本件のように悪質な滞納がある場合は、今後も訴訟という手段になりますか。

室井 嘉吉 議員

町は、調停と判断する基準を設けていますか。

副町長

それぞれの法律などの要件に基づき対応するため、全てが裁判まで進みません。町としては、税の場合には強制執行権を使用するなど、効力のある手段で対応します。

町長

本件の場合には調停という手段になりましたが、税や使用料なども、公平性という観点からあらゆる手段を講じても解決できない場

本件の場合には相手との協議が進まず、顧問弁護士も交えて解決策を考えてきました。関係法令やこれまでの職員の対応など、あらゆる状況を考慮した結果、これ以上の対応が難しく、このまま放

置できない状況だったことも、判断基準になると考えます。

税や他の使用料などでも、一定の判断基準を検討します。

室井 嘉吉 議員

調停を判断した理由は、

建設課長

内容証明郵便により、住宅の明け渡しと住宅使用料納付の催告をしたところ、今もって使用料も納付されず、明け渡しにも応じないので、やむを得ず調停を判断しました。

民事調停等訴えの提起

多額の滞納を防ぐための対策は

室井 嘉吉 議員

多額の滞納を防ぐための対策も必要です。町の考えは。

副町長

町では、滞納整理委員会を組織し、さまざまな滞納の問題に関して担当者間で情報共有しながら、効果のある解決に取り組んでいます。

建設課長

しかし、滞納金が一括で納付できない額に達した場合は、滞納者の所得水準に合わせて分割で支払う誓約書の提出を求めています。

その誓約の継続を確保するなかで、本件のように一切応じない悪質な場合に限り、やむを得ず民事調停という手段を判断しました。

なお、町としては、

全ての事案で裁判を提起する考えはありません。

楠 正次 議員

調停が進み、住宅明け渡しが決定的な場合の対応は。

使用料の納付が守られれば退去の必要はありませんので、当事者、顧問弁護士と協議しながら最善策を提示します。

しかし、それでも納付いただけない場合は、強制執行もやむを得ないと考えています。

国へ意見書を提出

「国際平和支援法案」「平和安全法制整備法案」制定に反対する意見書

総務委員会に付託されたこの請願は、慎重審議の結果「採択すべきもの」と決定し、総務委員長から審査の経過と結果が報告されました。報告に対し、反対討論を菅家幸弘議員が、賛成討論を高野精一議員が行い、賛成多数で採択されました。

休憩を挟んで意見書を提出する議案が提出され、採決の結果、全会一致で可決し、国に意見書が提出されました。

採決結果

議案等名称	採決結果	室井 嘉吉	星 登志一	阿久津梅夫	菅家 幸弘	星 光久	高野 精一	山内 政	楠 正次	湯田 哲	湯田賢太郎	大桃 英樹	湯田 良一	室井 英雄	渡部 訓正	丸山 陽子	森 秀一	貝田 美郎
「国際平和支援法案」「平和安全法制整備法案」制定に反対する意見書提出の請願について（総務委員会）	採択	○	○	欠	●	○	○	○	○	●	○	○	●	○	○	○	○	○

「○＝賛成」「●＝反対」「欠＝欠席」

※議長は採決に参加しません。

「国際平和支援法案」「平和安全法制整備法案」制定に反対する意見書

政府は、集団的自衛権行使のための法案を5月14日閣議決定し、第189回通常国会に提出した。

「国際平和支援法案」は、新たな立法措置をしながらも多国籍軍などの戦争に自衛隊が随時支援できるようにするための恒久法である。また、「平和安全法制整備法案」は、「存立危機事態」の定義を定め、我が国が攻撃されなくとも戦争に参加し集団的自衛権の行使を可能とすることや、周辺事態法などの地理的制約を撤廃することにより、米軍以外の軍隊も支援できるなど、PKO活動の「駆けつけ警護」が可能になり、武器使用権限も拡大されるなど、自衛隊の活動内容が大幅に拡大される。

政府は長年にわたって「憲法9条下において許容されている自衛権の行使は、我が国を防衛するため必要最小限度の範囲に止めるべき」として、集団的自衛権の行使や他国軍の武力行使との一体化を憲法違反としてきたが、2法案は、平和憲法下の我が国の基本政策の大転換であり、戦争を放棄した平和国家日本のあり方を根本から変えるものであり、断固認めることはできない。

よって、集団的自衛権の行使を容認する閣議決定を速やかに撤回し、2法案の制定を断念することを強く求めるものである。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成27年7月6日

福島県南会津町議会

第66回 南会津地方町村議会議員大会

主催 南会津地方町村議会議長会



渡部 訓正 議員



森 秀一 議員

要望事項

- ①過疎地域自立促進事業の支援について
- ②へき地医療の充実と県立南会津病院の整備拡充について
- ③国道352号（穴原～耻風間、中山峠）改良促進について
- ④国道289号（駒止峠）無散水融雪施設設置について

7月10日、南会津町界の「さゆり会館」で、南会津地方町村議会議長会が主催する議員大会が開催されました。

この大会は、南会津郡内4町村の議員が一堂に会して、南会津地方の諸問題を共同で解決していくことを目的に毎年開催され、今年で66回目になります。

大会では、本町議会から森秀一議員と渡部訓正議員が4つの要望事項を提案し、満場一致で決議されました。

今後は国と県に対し、実現に向けた粘り強い要望活動が行われます。

福島県町村議会議長会自治功労者表彰受賞おめでとうございます

南会津町議会議員から2名が、議員在職11年以上のご功績により、福島県町村議会議長会長から自治功労者表彰を受賞されました。

今後も町政進展のため、一層のご活躍を期待いたします。



山内 政 議員
(4期目)



高野 精一 議員
(4期目)

「議会だより」の充実を目指して

議会議員の改選により、議会広報委員会も新人議員4人を含む6人で新たに構成されました。諸先輩から引き継がれてきたこの「議会だより」を、一層「町民が読みたくなる議会だより」になるよう精一杯編集していきますので、どうぞよろしくお祈りいたします。

議会広報委員長 星 光久

議会広報委員会
委員長 星 光久
副委員長 森 秀一
委員 貝田美郎
委員 丸山陽子
委員 室井英雄
委員 室井嘉吉

議会傍聴におこしく下さい

平成27年第3回定例会
9月11日(金)開会予定

議会傍聴の手続きは簡単です。本庁3階傍聴席入り口で住所と名前を書くだけです。傍聴席で議案も閲覧できます。

発行 南会津町議会 〒967-8501 福島県南会津郡南会津町田島字後原甲 3531-1
編集 議会広報委員会 TEL:0241-62-6310 FAX:0241-62-6102
E-mail:gikai@town.minamiaizu.lg.jp

